

国際交流

1万キロを結ぶ

友好の架け橋

ドイツとの交流① 姉妹都市 ドイツヘルツタール

■ドイツヘルツタールとは

ドイツ連邦共和国中部のヘッセン州、広大な森林地帯の中にある自然豊かな美しい町です。人口は約6千人（下野市の10分の1）、面積は約37平方キロメートル（下野市の約半分）です。



緑豊かな丘陵に囲まれたドイツヘルツタールの風景

■「石橋」から始まった交流

ドイツヘルツタールには、シュタインブリュッケン（日本語で石橋の意味）という地区があります。交流の始まりは、獨協大学名誉学長石橋長英博士（故人）が旧石橋町に橋渡しをしたことによります。昭和50年4月に姉妹都市となり、合併後も交流が続き、今年で42年目になります。

■中学生相互派遣事業

3年に1回実施されているこの事業では、いまままで下野市（旧石橋町）から8回、ドイツヘルツタールから6回、中学生が相互派遣されてきました。ホームステイをしながらの学校訪問、文化体験などが、子どもたちにとって、国際感覚を養う貴重な機会となっています。また、この派遣をきっかけに、留学や国際的な職業を目指す学生もいて、世界に羽ばたく人材の育成に役立っています。

今年8月20日～26日の期間、市内中学校に在籍する中学生13名が姉妹都市に派遣されました。来年3月には、姉妹都市の中学生が下野市を訪問する予定です。



姉妹都市の石橋庭園で記念撮影

ドイツとの交流② ミュンヘン大学生

■ミュンヘン大学生との交流

ミュンヘン市は、ドイツの南部、オーストリアやスイスの山岳地帯を望む、人口約135万人の商工業都市です。ミュンヘン大学は、18学部に約44,000人の学生が学んでいる総合大学です。

大学で日本語のクラスに所属している学生が、日本語や日本文化を学ぶため、毎年8月、下野市に2週間ホームステイをしています。

24回目となる今年は、7名の学生が下野市に滞在しました。

滞在期間中は、日本語の授

業を受けたほか、茶道、弓道、浴衣着付けなどの日本文化を体験しました。

また、自治医科大学や小山工業高等専門学校の学生との交流会も開催され、学生生活について意見を交換するなど、お互いにとって実りある時間を過ごすことができました。

来年も広報しもつけ6月号で、ミュンヘン大学生をお世話ししていただくホストファミリーを募集する予定です。ご興味のある方はぜひご応募ください。



ふくべ細工作り体験

国際交流協会

会員募集中!

下野市国際交流協会では、随時会員を募集しています。

ご入会いただきますと、年に3回発行される会報（いろいろな行事の案内などが掲載されています。）が届くほか、語学講座の受講ができるようになります（有料です）。また、国際交流員イベントなどの協会主催のイベントにお安い会員料金でご参加いただけます。

外国や国際交流にご興味のある方、外国人と交流してみたい方はぜひ入会をご検討ください。

■年会費

- ・個人会員 1口 1,000円
- ・学生会員 1口 500円
- ・ファミリー会員 1口 2,000円
- ・法人会員 1口 5,000円

■問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局
市民協働推進課

☎(32) 8887